

NETIS登録番号	技術名称	ケスタ			
QS-070009-V	副題	「多自然川づくり」に最適な覆土工法用ブロック			
分類1	河川海岸	多自然型護岸工	ブロック積(張)工	キーワード: 環境、公共工事の品質確保・向上	
分類2					
開発目標	周辺環境への影響抑制、品質の向上				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input type="checkbox"/> 有り (特許番号: _____) <input checked="" type="checkbox"/> なし				
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	株式会社 ヤマウ		TEL	092-872-3351
	住所	福岡県福岡市早良区東入部5丁目15-7		E-MAIL	katayama@yamau.co.jp
	担当者	片山強			
実績件数	国土交通省	その他の公共機関	民間等		
H26.8.31現在	41件	21件	0件		

技術概要: (300字以内)

「多自然川づくり」に最適な覆土工法用ブロックで、高水護岸用ケスタⅠ型と低水護岸用ケスタⅡ型があります。製品の大型化により施工性が向上し、ブロック表面には縦横のリブがあるため覆土の流出を抑制する効果があります。ケスタⅠ型はシャックルによる連結のため可とう性に優れます。また、ケスタⅡ型は工法の簡略化を追求した構造設計により、施工性に優れたこれまでにない新しい形の覆土ブロックです。

「従来技術と比較して何を改善したのか」

従来の平張りブロック、間知ブロックや連節ブロックは、覆土の滑り出しなどに対して十分な機能を有していませんでした。ケスタはこれらの事項について改善を行うとともに、また大型化による施工性の向上を図りました。

「期待される効果」

■ケスタⅠ型

- ①ブロック表面を縦横のリブ構造とすることにより、覆土後の土の流失を抑制するようにしました。
- ②ブロックは1.24m<sup>2</sup>/個と大型化することにより、機械施工での施工性の向上を図っています。
- ③ブロック相互の連結はシャックル等により行なうことで、可とう性に優れます。

■ケスタⅡ型

- ①ブロック表面を縦横のリブ構造とすることにより、覆土後の土の流失を抑制するようにしました。
- ②ブロックは1.24m<sup>2</sup>/個と大型化することにより、機械施工での施工性の向上を図っています。
- ③ブロックにコンクリート投入開口を設けることにより、
  - ・胴込コンクリートを前面開口部から投入することができ、施工性が良くなりました
  - ・開口から、胴込コンクリートがきちんと充填されているかどうか目視で確認でき、またパイプレーターの挿入も簡単です。さらに空気溜まりも出来ない為、現場打ちコンクリートの品質確保が図れます
  - ・胴込コンクリートにより上下左右が一体化するため、面倒な連結作業が不要となりました
- ④胴込コンクリートの表面が粗くなるので、土も滑落しにくくなります  
また、ケスタⅠ型、Ⅱ型ともに、
  - ・施工後は全面緑化になるため、自然河岸と同様な景観と動植物の生態系が成り立つ十分な環境を創出します。
  - ・覆土上の植物が密生したあとは、覆土の流失抑制効果がさらにあがります。

「適用条件」

- ①現場条件
  - ・従来品と同様に所定のクレーンが搬入・作業できるスペースが必要
  - ・ケスタを仮置きするスペースが必要
- ②技術提供可能地域  
H24年度時点においては、九州全域、山口県および四国地域

「適用可能な範囲」

適応勾配は、1:1.5以上の緩勾配です。  
※1:1.5の場合は別途打合せが必要です。

「適用できない範囲」

法勾配が1:1.5より急な区間

「写真・図等」



ケスタⅠ型



ケスタⅡ型

